

第283回 益田掃除に学ぶ会 お掃除通信

開催場所 安田小学校 校長 中島 恵治
参加者数 8名 教頭 杉原 貴宏

1、代表世話人挨拶 山崎純
掃除の会も場所の提供が難しく、最初始めた頃は公衆トイレを
させて頂いてましたが、その後は学校のトイレをお借りできるように
なって、今はそれが当たり前となっております。しかしこのことは
益田市の教育長また各学校の校長先生のご理解があってこそ
できることです。当たり前を当たり前にして感謝してさせて
頂くことが大切です。特に今のコロナ禍においてそのことを
強く感じております。今日は参加者が少ないのですが、明日
子供さんがトイレを見て綺麗になって気持ちがいいと言ってもらえる
ように掃除をしましょう。今コロナがまた感染拡大しております
東京をゴーツーから除外とか言ってますが日本全体が大変なことに
なることを憂慮しております
2、体験感想発表
・森 直雄さん(益田市・キューサイファーム鳥嶺)
今日は男子トイレの小便器を入り口から2つさせて頂きました
入口の便器は水が当たっていない所の汚れがひどくて苦労しました
そんなことで全体的には心残りの掃除になりました
・山崎 純さん(益田市・キヌヤ)
今日は大便器をさせて頂きました。入口の大便器は光が届かなくて
暗いので汚れが見えずに苦労しました。最近感じるのは小学校の
トイレは各学校で水の量が少なくて、汚れが増え、臭くなると言った
悪循環になっていると思います。それによって子供さん達が
トイレに行くのを嫌がる等の問題も出てくると思います。水道代の
節約のためにどこかの学校で聞きましたがもっと流せばきれいさは
保たれて、臭いは無くなると思うんですけどね
・中島校長より
普段気付かないことを指摘いただいて気付かせて頂きました

2、体験感想発表
・岡本 昇太さん(浜田市・キヌヤ)
今日は大便器の洋式と和式をさせて頂きました。特に洋式はきれいでした
和式も入り口とは違って明るくよく見えて汚れも取れて、今日は満足の掃除です
・中島 恵治さん(安田小学校校長)
今日は小便器の3番目を担当しました。早めに済ませて次の便器に取り掛か
かろうと思いましたが、そこは未熟でできませんでした。こうして皆さんと
一緒に活動することで普段気付かないことに気付かせて頂けます。また
学校にウイルスを持ち込まないことを前提に、皆さんにも注意を払って頂いて
ありがたいことです。今週も修学旅行がありましたが、コロナ禍のなか変更に変更を
重ねての実施でした。学校は地域の方を含めて沢山の人のに来て頂き
それを当たり前にしてきて、その人とかかわり合いこそが学校だと思っています
このようなコロナ禍の中でも、工夫してやっていく、また信頼関係を感じてやって
いくことの大切さを感じております。今日は本当にありがとうございました
・中西 秀之さん(岡南市)
今日はお世話になりありがとうございました。学校を会場として貸していただく
しかし勝手にやって下さいと言われる学校もありますが、校長先生がこうして
ご参加されることは本当に素晴らしいことだと思います。また今日はベテラン
ばかりで掃除でしたが、リーダーがいないような形になって、仕切って
いけない、そうするとだらだらしてくる、きちんと指示命令を出すということが
望ましいのですが、今日は山崎さんがその点はきちんとされていてよかったと
思います。また道具も揃っているのがありがたいですね
・事務局 岡崎より
コロナ禍の中、春の緊急事態宣言の頃は学校での掃除は難しく、今年一年は
無理かなと思っていましたが、8月から出来るようになり、各学校の校長先生の
ご理解のお蔭と感謝しております。すでに来年4月までは決めておりますが、先行き
どのようになるか不透明です。何とか本部の規約を守って継続していきたいと思

4、鎌山秀三郎相談役 一日一語より抜粋
具体的に動く
手紙を書くには、まず、机の前に座って、机の上に便箋と封筒を置き、ペンを持つことです。
机の前にも座らず、便箋も封筒も用意をせず、ペンを持たずにいくら手紙を書こうと思っても
その手紙は永久に書けません。思い立ったことは、具体的に動くことです。
具体的に動くことと少しずつ前に進むようになります。
失敗のおかげ
過去、不渡手形を随分もらいました。そのたびに苦労しましたが、一面では不渡手形を
振り出した人の気持ちが分かるようになりました。もし約束通りすべて回収できていたら
私は有頂天になり、人の失敗を許せない人間になっていたと思います。
少しでも人に対する思いやりが持てるようになったのは、こうした失敗のおかげです。
5、森信三先生の教え 一語千鈞より
生き方の基本
・子孫に血を伝えた責任上、わが生涯のあらましは、少なくとも孫までは分かるようにする義務がある
・人は「自伝」を書くことによって、いかに多くの方々のお世話によって、今日の自分があり得たかが
分かる点から「自伝」は一種の「報恩録」といってよい
・われわれは、何を以て同志としての共通の実践ヶ条と考えたらよいのであろうか。
1・「人生二度なし」と念じ、常に腰骨をたてること
2・ハガキ活用の練達者になること 3・つねに下座行を怠らぬこと
4・「一日不読一食不喰」をモットーとすること
6・平澤 興先生語録より
平澤 興 一日一言より
・できない子というのは、自分の持っている能力を如何に伸ばすかということを知らない子供がありますが
最も大切なことは、そういう子供に劣等感を与えないということであり、出来ない子供が、将来世界的な
偉人になった例は、歴史上上げては少なくないであります
・いかに、可能性を引き出すかということについては、これは、本人に、興味を持たせること
面白いと思わせることが第一だろうと思います。そしてできるまでやらせる。